

5/17(日) 第41期 棋王戦

予選特選譜 第2局

先 五段 山本 真也 (43歳)

全日本アマ名人

城間 春樹 (38歳)

【第6譜】 (図は△7七とまで)

一 二 三 四 五 六 七 八 九



【投了図】 (図は△3八銀まで)

一 二 三 四 五 六 七 八 九



消費時間 3時間28分 (指し手120手) 持ち時間 各4時間

- ▲1三角成2△同銀2
- ▲1七香打1△7九歩成
- ▲同金3 △3五桂3
- ▲3九金 △7五角1
- ▲1四香1 △同銀
- ▲1三歩 △同桂1
- ▲1四香 △2七香1
- ▲同銀 △同桂成
- ▲同玉 △3九角成
- ▲1三香不成△2二玉
- ▲7八金1 △3八銀

「かりゆしな日」

城間アマがアマ名人になつた記事が専門誌で取り上げられた。そのときの題名が「かりゆしな日」。かりゆしとは沖繩の方言で、めでたい、縁起がよいという

意味。全日本アマ名人戦決したことがない』と城間さ勝の日は沖繩の正装、「かんに言っておいてくださりゆしウエア」を着て対局に臨み、見事に優勝した。めでたい縁起のよい日となつた。城間アマは「ゆつくり考へることができて楽しめた。序盤は作戦負けにしたかと思いましたが、大事には至らなくてよかった。次の対戦相手の北浜健介八段には、一度研究会で指してもらったことがあります。いい将棋が指せるようにしたいですね」と話した。その一戦は残念ながら敗れたが、持ち時間を使い果たした大熱戦。「北浜先生に久しぶりに教えてもらって楽しい時間でした」ときわやかに語っていた。

局面は、すでに勝負どころがない。▲1三角成△1七香打は形作り。城間アマは終始冷静だった。元奨励会三段の実力者だし、対局場の雰囲気にも慣れている。プロを相手に気後れするところもなく、普段通りの力を出して完勝。最終局面以降は▲1六玉に△1五歩▲同玉△1四歩以下、分りやすい詰みだ。本局について、城間アマにあらためて語ってもらうこと。『山本はたい

(野間俊克)

H 1 5 年 5 月 1 7 日 掲 載